## パブリック・コメント募集結果

「広域都市計画マスタープラン(印旛広域都市圏)(原案)」について、皆様から御意見を募集したところ、下記のとおり、御意見をいただきました。

いただいた御意見とこれに対する本市の考えにつきまして、次のとおり取りまとめましたので、公表いたします。

案件	広域都市記	十画マスタープラン(印旛広域都市圏)(原象	案)
募集期間	令和7年10月17日(金)~令和7年10月30日(オ (14日間		1.1.1
意見の件数 (意見提出者数)	1件 (1人)		
意見の取扱い	修正	素案を修正するもの	0件
	既記載	既に素案に盛り込んでいるもの	0件
	参考	素案には反映できないが今後の参考とするもの	1 件
	その他	素案には反映できないが意見として伺ったもの	O件

市民意見	件数	意見に対する市の考え方
(該パート P19 (3)都市施設の整備に関する主要な都市計画の決定の方針 ①を動力の表面をである。 ①を動力をである。 ②の計画の決定のあます。 ②の計画の決定のおいて異存はありりでである。 ②の計画をであるが思した。 ②の計画のはは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で		原案を作成した千葉県に確認したところ、「いただいたご意見は関係で、参考とさせていただく」とのことでした。市としては、地域公共交通に関して「具の中市地域公共交通計画」等をしていまました。で共有し、今後施策展開を図るうえで、大きます。  【参考】

鉄道各駅へのアクセス網に再編する

コミュニティバスは車の運転ができな い方の貴重な「足」ではありますが、現 在のフリクエンシー(1日7本)では不十 分です。

また鉄道と並行しているバスは廃止 し、駅を基幹とするルートに再編するこ とでフリクエンシーを改善します

② 北総鉄道、千葉レインボーバス、白井 市・印西市のコミュニティバス、ちばに うバス他の交通機関の共通乗車券の発行

現在は乗り換えの都度運賃支払いが生 じますが、「千葉 NT ゾーン内共通乗車券」 を発行し、移動をスムーズ化するととも に運賃負担を軽減します。

交通機関の収入減を心配される面もあ りますが、住民の外出を誘導するため減 収になるとは限りません。

現に北総鉄道はシーズン毎に「土休日1 日乗車券」発行しております。

③ 「共通乗車券」をさらに進め、地域住民に「千葉 NT ゾーン内年間パス」(あるいは1週間パス、1月パス、3か月パス等)を発行する。

これらは交通機関の収入の安定化に寄与するとともに地域住民にとっては外出しやすくなるため、地域経済の活性化にもつながります

付記、

1. 日本の人口減、高齢者社会化、地方 交通の衰退等、地方都市にとって車に乗 れない人の移動手段をどのように確保す るかは喫緊の課題と言えます。

新しい交通手段の建設には高額の投資が必要ですが、幸い千葉 NT には既存の交通インフラがあり、これらを生かしたソフトウェアによる少ない投資で解決する方法があります。

ぜひこの面にも目を向けていただきた いと思います

2. この施策の実現には市の予算措置、交通機関との調整が必要になります。

北総鉄道の運賃値下げは容易に解決できるものではありませんが、ゾーン内交通に限る運賃設定なら北総にとって決してマイナスにはならないと考えます

- 3. コミュニティバスの基幹ルートへの 再編と策定はマスタープランにも記載が あるような集中居住を推進することにも つながると考えます。
- 4. 国内ではこのような例はまだないと 思いますが、高齢者対象の年間パス等は 東京都、名古屋市、京都市、大阪市等で 各種実施されております。

本提案は、これをすべての年齢の居住 民に拡大するというものです。

高齢者にはさらに割引の運賃設定も考えられます。

5. 「千葉 NT ゾーン」には住民の生活ゾーンとして新鎌ヶ谷、鎌ヶ谷大仏駅(鎌ヶ谷市)、小室駅(船橋市)などを含むのが望ましいと考えますが、当面は白井市・印西市で開始され、徐々にゾーンを拡大するのが現実的と考えます。